

令和9年度
編入学生募集要項
(学校案内を含む)



| 募集コース |
|-----------------|
| 創造工学科 エネルギーコース |
| 創造工学科 応用化学コース |
| 創造工学科 環境生命コース |
| 創造工学科 情報システムコース |

| 出願期間 | 検査日 | 合格発表 | 入学確約書 提出期限 |
|-------------------------|----------|----------|---------------|
| 8月3日(月) ～ 8月6日(木) | 8月19日(水) | 8月26日(水) | 9月2日(水) |

独立行政法人 国立高等専門学校機構

有明工業高等専門学校

〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150

電話 0944-53-8622

FAX 0944-53-8862

ホームページ <https://www.ariake-nct.ac.jp/>

目 次

| | | |
|------|--------------------------------|-------|
| I | アドミッションポリシー（学生受け入れ方針） | |
| | 求める学生像 | 1 |
| | 入学者選抜の基本方針 | 1 |
| | 募集コース・編入学年・募集人員 | 1 |
| II | 系・コースの紹介 | |
| | 環境・エネルギー工学系 | 2 |
| | 人間・福祉工学系 | 3 |
| III | 募集要項 | |
| | 1 出願資格 | 4 |
| | 2 志望コース | 4 |
| | 3 願書受付 | 4 |
| | 4 出願手続 | 4 |
| | 5 選抜の方法 | 5～6 |
| | 6 検査当日の注意事項 | 7 |
| | 7 合格者発表 | 7 |
| | 8 入学確約書の提出 | 7 |
| | 9 入学手続 | 7 |
| IV | 追試験について | 7 |
| V | 出願上の注意事項及び編入学推薦書、志願票等記入要領 | 8～9 |
| VI | 入学者選抜における障害等を理由とした合理的配慮の提供について | 9 |
| VII | 個人情報の保護について | 10 |
| VIII | 入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合の注意点 | 10 |
| IX | 学校案内 | |
| | 1 校訓 | 11 |
| | 2 教育理念と学習・教育到達目標 | 11 |
| | 3 教育課程 | 12 |
| | 4 経費・免除制度・奨学金・学生寮 | 13 |
| | 5 卒業後の進路 | 14～15 |
| | 6 有明工業高等専門学校案内図 | 15 |

添付書類

- | | |
|----------|-------------|
| ① 編入学推薦書 | ② 編入学志願票 |
| ③ 志望調書 | ④ 写真票 |
| ⑤ 受験票 | ⑥ 入学検定料振込用紙 |

I アドミッションポリシー（学生受け入れ方針）

求める学生像

本校では、本科5年間と専攻科2年間で有機的に連携させた教育プログラムを通し、幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性、多様性、学際性、国際性に富む実践的な高度技術者の育成を目指します。特に、人の営みから発生する課題や自然災害などがもたらす課題など人類が直面する大きな課題の解決に率先して取り組み、現代社会が抱える様々な課題を解決できるとともに、未来へ希望をつなぐ技術を創成できる技術者の育成を図るため、本校では専門、数学、英語の基礎学力のある高等学校卒業生等で次のような人を求めています。

- 1) ものづくりに興味がある人
- 2) チャレンジ精神がある人
- 3) 他の人と協力して作業ができる人
- 4) 物事を粘り強くやり続けることができる人
- 5) 社会に貢献したいと考えている人

入学者選抜の基本方針

《求める学生像》に合致した人を入学させるために、入学者の選抜を次の方法で行います。

高等学校又は中等教育学校を卒業見込みで、在籍する学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は編入学することを確約できる人を出願の条件とします。在籍学校長から提出された推薦書と調査書により、人物及び基礎学力が優れていることを評価するとともに、面接において工学に対する意欲とその適性を評価します。また、学力検査（工学基礎(数学及び理科の知識の応用)及び専門科目)により本校における専門科目を修得するための能力を有しているかを評価し、以上の結果を総合して選抜します。

募集コース・編入学年・募集人員

| 募集コース | 編入学年 | 募集人員 |
|-----------------|------|-------|
| 創造工学科 エネルギーコース | 第4学年 | 若干名 |
| 創造工学科 応用化学コース | 第4学年 | 若干名 |
| 創造工学科 環境生命コース | 第4学年 | 若干名 |
| 創造工学科 メカニクスコース | | 募集しない |
| 創造工学科 情報システムコース | 第4学年 | 若干名 |
| 創造工学科 建築コース | | 募集しない |

Ⅱ 系・コースの紹介

環境・エネルギー工学系

【教育上の目的】

自然と向き合い、環境問題、エネルギー問題及び食糧問題などの諸課題に取り組む技術者の育成を目指しています。

そのために、以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科への勉学の意欲が高く、実験が好きな人
- 2) より高度な専門知識を身につけようとする意欲がある人
- 3) さまざまな事柄に科学的な興味をもつことができる人

【コース紹介】

エネルギーコース

エネルギーコースでは、地球環境への配慮と持続成長可能性を考慮しながら新エネルギーの開発・利用、エネルギーの効率的な変換などに関する知識を身につけ、様々な分野で発展したエネルギー関連技術を駆使し、環境との調和を図るとともに、諸課題に対応し得る技術者の育成を目指しています。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) さまざまな自然現象に興味をもち、積極的に勉強する意欲がある人
- 2) 実験や工作に興味をもち、人と協力してものごとに取り組むことができる人
- 3) エネルギーや環境問題に関心をもち、技術を介して社会に貢献する意志がある人

応用化学コース

応用化学コースでは、化学の基礎学力及び基礎技術力を有し、持続成長可能性を考慮しながら、新たな素材創成や機能の付与並びにその評価ができる知識、技術を修得し、さらに周辺分野の知識を有し、化学的手法を用いて諸課題を解析・対応・解決することができる実践的技術者の育成を目指しています。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 他の人の考えを聴き、自分の考えを表現できる能力の向上に意欲がある人
- 2) 他の人と協力して長時間の実験にも集中して根気強く取り組むことができる人
- 3) 基本的な生活習慣が身についている人

環境生命コース

環境生命コースでは、食糧問題、環境問題、エネルギー問題、資源の有効活用など複雑化・多様化した諸課題に対して生命現象を理解し、環境工学や生命工学に関する知識や周辺分野の知識を有することでバイオテクノロジーを総合的に応用し、解決すべき課題を自らの力で見出し、高い創造性をもって解決できる実践的技術者の育成を目指しています。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 生命現象、生物資源や自然環境に関心をもち、自ら粘り強く学習や実験を続ける意志がある人
- 2) 自分の考えをもち、それを表現でき、さらに人の意見を聴くことのできる協調性がある人
- 3) 基本的な生活習慣が身についている人

人間・福祉工学系

【教育上の目的】

人々の生活の質の向上を目指して都市問題、高齢化社会問題などの諸課題に取り組む技術者の育成を目指しています。

そのために、以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科はもちろんのこと、その他のいろいろな分野に興味がある人
- 2) ものの仕組みや原理に関心があり、専門知識を身につけたいと思っている人
- 3) ものづくりを通して人々の生活を豊かにすることに意欲がある人

【コース紹介】

メカニクスコース（令和9年度は募集しない）

メカニクスとは物体の運動に関連した力学を意味します。このコースでは機械力学、材料力学、熱力学、水力学という機械工学のベースとなる4つの力学に関する知識や技術を学びながら、エレクトロニクスや情報通信技術（ICT）との統合が進む近年の幅広いものづくりに対応できる技術者の育成を目指しています。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 機械のメカニズムに興味があり、その知識を専門的に身につけたいと考えている人
- 2) 自らアイデアを出し、科学技術を使ってものづくりをしたいと思っている人
- 3) 地球環境に配慮し、すべての人が豊かに生活できる未来を創造することに関心がある人

情報システムコース

情報通信技術（ICT）を活用した情報システムは、生産、経済、医療、福祉、教育などのあらゆる分野で使われており社会基盤として不可欠なものになっています。情報システムコースでは、(1)コンピュータのソフトウェア及びハードウェア、情報ネットワーク、組み込みシステムなど情報システムに関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者、(2)情報システムの構築を通して人々の生活の質（QOL）の向上に貢献できる実践的技術者、(3)情報システムとその周辺分野の知識を身につけ社会ニーズに柔軟に対応できる技術者の育成を図ります。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科や語学が好きで、自発的に努力ができる人
- 2) コンピュータやスマートフォンなどの情報通信機器の仕組みに興味がある人
- 3) 情報システムを人々の役に立たせたいと考えている人

建築コース（令和9年度は募集しない）

建築コースでは、建築学と人間社会の関連を認識し、また、自然と共生しながら、安全で、豊かで、魅力的な人間の生活環境を創造することに貢献できる実践的技術者の育成を目指します。また、都市問題・環境問題・高齢化社会問題など、現代の諸問題に対応できる技術者の養成を目指します。そして、建築学と関連する工学分野の知識を身につけ、地域社会のニーズに対応できる技術者の育成を目指します。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科はもちろんのこと、社会や芸術などいろいろな分野に興味をもち、勉強している人
- 2) 家づくりやまちづくりに興味をもっている人
- 3) 建築の仕事を通して、社会に貢献しようと考えている人

Ⅲ 募集要項

1 出願資格

次の各号に掲げる者で、学業成績・人物ともに優れており、技術者としての適性・意欲があると認めて出身学校長が推薦し、合格した場合、編入学することが確約できる者とします。

- (1) 高等学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者

2 志望コース

志望コースは、在籍学校における所属学科と同系統になります。ただし、普通高校からの受験の場合、志望コースはどのコースも選択可能です。

なお、不明の場合は、出願前に学生課教務係へお問い合わせください。

3 願書受付

| | |
|------|-------------------------------------------------------|
| 受付期間 | 令和8年8月3日(月)から8月6日(木)16:00まで(必着) 原則として郵送(簡易書留)とします。 |
| 郵送先 | 〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150 有明工業高等専門学校 学生課教務係 |

4 出願手続

次の書類を「記入要領」(8ページ)をよく読んで作成し、在籍学校を経て本校学生課教務係へ郵送してください。

| | |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 編入学推薦書 | 本校所定の様式を使用すること |
| ② 編入学志願票 | 本校所定の様式を使用すること |
| ③ 志望調書 | 本校所定の様式を使用すること |
| ④ 写真票 | 本校所定の様式を使用すること |
| ⑤ 受験票 | 本校所定の様式を使用すること |
| ⑥ 入学検定料 | 16,500円 ※振り込みは銀行の窓口で行うこととし、ATM(現金自動預払機)及びインターネットバンキングは使用しないこと |
| ⑦ 調査書 | 在籍学校所定の用紙に記入 ※評定欄第3学年は履修中の科目に○を記入 ※修得見込単位数を記載 |
| ⑧ 受験票送付用封筒 | 規格長4型(90×205mm)の封筒に郵便番号・住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付 ※令和8年4月現在の料金のため、郵便料金改定があった場合は、改定後の金額分の切手を貼付 |

5 選抜の方法

入学者の選抜は、推薦書、調査書、学力検査【工学基礎(数学及び理科の知識の応用)、専門科目】及び面接の結果を総合して行います。

面接 180 点、調査書 120 点、学力試験 200 点（工学基礎 100 点、専門科目 100 点）

※原則として、学力試験（専門科目）の得点が 1/2 以上かつ面接点が 1/2 以上の者を合否判定の対象とします。

(1) 学力検査及び面接の日時及び場所

| 日時及び場所 | 検査科目 | 時 間 |
|-------------------------------------|------|---------------|
| 令和 8 年 8 月 19 日(水) 有明工業高等専門学校 | 工学基礎 | 9:20 ~ 10:10 |
| | 専門科目 | 10:30 ~ 11:20 |
| | 面接 | 11:40 ~ |

追試験がある場合は以下の日時で実施します。

| 日時及び場所 | 検査科目 | 時 間 |
|------------------------------------|------|---------------|
| 令和 8 年 9 月 2 日(水) 有明工業高等専門学校 | 工学基礎 | 9:20 ~ 10:10 |
| | 専門科目 | 10:30 ~ 11:20 |
| | 面接 | 11:40 ~ |

(2) 検査科目・範囲

学力検査は筆記試験とし、科目及び範囲は次の表のとおりです。

| 検査科目 | | 出題範囲 |
|-------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コース共通 | 工学基礎 | <p>下記の数学と理科の範囲に関する基礎と応用</p> <p>数学Ⅰ（数と式、二次関数、図形と計量）</p> <p>数学Ⅱ（式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角・指数・対数関数、微分積分）</p> <p>数学A（場合の数と確率）</p> <p>数学B（数列）</p> <p>化学基礎（物質の構成と化学結合、物質の変化）</p> <p>物理基礎（力学分野の内容：1. 物体の運動、2. 力と運動の法則、3. 仕事と力学的エネルギー）</p> |

| | | | |
|------|--------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 専門科目 | エネルギーコース | 電気回路 | 直流回路、R、L、Cを用いた直並列交流回路、単相交流電力、回路に関する諸定理、平衡三相回路及び三相電力 |
| | | 電磁気学 | 電荷と電界及び電位とキャパシタンス（静電容量）、電流と磁界、電磁誘導とインダクタンス |
| | 応用化学コース 環境生命コース | ※工業化学Ⅰ | 物質と化学、物質の変化と量、気体の性質と空気、水と溶液、酸と塩基、食塩とアルカリ金属、ハロゲン、元素の性質と化学結合、化学反応と熱・光、酸化と還元、反応速度と化学平衡、放射性物質と原子核エネルギー |
| | | ※工業化学Ⅱ | 石油と化学、工業材料と新素材、生命と化学工業 |
| | | ※化学 | 化学基礎（物質の構成、物質の変化） 化学（物質の状態と平衡、化学反応の速さと平衡、無機物質、有機化合物） |
| | 情報システムコース | 電気工学基礎 | 電気回路 |
| | | ※電子工学系 | 電子技術・電子回路・ハードウェア技術 |
| | | ※情報工学系 | プログラミング技術・ハードウェア技術・ソフトウェア技術・コンピュータシステム技術なおC言語によるプログラム作成を含む |

※応用化学コース・環境生命コースについては
「工業化学Ⅰ及び工業化学Ⅱ」又は「化学」のいずれかを選択してください。

※情報システムコースについては
「電気工学基礎」は受験必須で、「電子工学系」、「情報工学系」については2科目のうちいずれかを選択してください。なお、「電気工学基礎」、「電子工学系」、「情報工学系」3科目とも配点は100点です。受験した2科目の合計から1/2したものを専門科目の得点とします。

6 検査当日の注意事項

- (1) 検査当日は、本校図書館棟3階さんさくMMルーム(視聴覚室)に8:50までに集合してください。
- (2) 受験票、筆記用具を必ず持参してください。
- (3) 検査室では、鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム及び腕時計(時計機能のみ)以外は使用できません。
- (4) 上履きは必要ありません。
- (5) 携帯電話・スマートフォン・タブレット端末等の電源は切って、カバンの中にしめてください。腕時計型や眼鏡型などのウェアラブル端末を身につけておくことはできません。

7 合格者発表

- (1) 発表日時 令和8年8月26日(水) 10:00頃
※追試験を受験した者は、令和8年9月9日(水) 10:00頃
- (2) 発表方法
本校ホームページ(<https://www.ariake-nct.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載するほか、合格者本人及び在籍学校長宛に文書で通知(当日発送)します。
電話による問い合わせには応じられません。

8 入学確約書の提出

合格通知を受けた場合は、令和8年9月2日(水)16:00まで(必着)に、学生課教務係へ「入学確約書」を郵送(簡易書留)してください。原則として郵送(簡易書留)のみとしますが、やむを得ず持参する場合も、上記締め切りまでに提出してください。
※追試験を受験した者は、令和8年9月16日(水)16:00まで(必着)に郵送(簡易書留)してください。

9 入学手続

令和9年3月17日(水)に「入学説明会」を実施しますので、保護者同伴で出校してください。詳細は、令和9年3月上旬に書類(納入金に関する通知を含む)を郵送します。
なお、出校しない場合は、入学の意志がないものとして合格を取り消すことがあります。

IV 追試験について

本試験を受験できなかった場合、次に掲げる者を対象に追試験を実施します。

- (1) 学校保健安全法施行規則(昭和33年文部省令第18号)第18条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者
- (2) その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者

本試験を受験できないと分かった時点で、必ず、下記連絡先に連絡してください。

本試験当日に発熱、咳等の症状があり、感染症等に罹患している疑いがある場合は、検査会場には来ずに、検査開始時間前までに、下記問い合わせ先に連絡してください。

なお追試験を受験する場合は、当日若しくは後日、必要に応じて医療機関等を受診する必要があります。

連絡先

有明工業高等専門学校 学生課教務係
Tel : 0944-53-8622

V 出願上の注意事項及び編入学推薦書、志願票等記入要領

- ◎ 出願書類等は必ず簡易書留郵便とし、封筒の表に「編入学願書」と朱書してください。出願書類等の配達状況は、お持ちの引受番号を用いて、郵便局のホームページから確認できます。
- ◎ 出願書類等に不備がある場合は、受け付けできません。
- ◎ 虚偽の記入があれば、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ◎ 出願手続き後は、書類の返却及び記載事項の変更を認めません。
また、納付済の検定料は返還できません。ただし、次の要件のいずれかに該当する場合は、納入済みの入学検定料を返還します。
 - 1) 入学検定料を振り込んだが本校に出願しなかった場合
 - 2) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合上記の入学検定料返還要件に該当する場合は、別様式（本校ホームページ参照）により必要事項を記入後、出願予定の願書受付期間終了後に学生課教務係まで速やかに連絡願います。
なお、返金の際の振込手数料は自己負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ 出願書類は、黒の万年筆か油性ボールペンを用い、楷書で正確に記入してください（フリクションボールペン等の消せるボールペンでの記入は不可）。編入学推薦書及び編入学志願票については、本校ホームページにある様式をダウンロードして、ワープロで記入していただいてもかまいません。
- ◎ ※印の欄は記入しないでください。

編入学推薦書・編入学志願票・志望調書・写真票・受験票

1 編入学推薦書

- (1) 人物については、（能力・素質・適正）と（性格・行動）に分けて、具体的に記入してください。また、これら以外で特筆すべきことがあれば、特記事項に記入してください。
- (2) 生活態度等については、本人の生活態度、健康状態、趣味、特技等を記入してください。
- (3) その他欄には上記以外について特記する事項があれば記入してください。

2 編入学志願票

志願者欄

- (1) 志望コースについては、エネルギー・応用化学・環境生命・情報システムのいずれかを記入してください。
- (2) 入寮希望欄については、有無を○で囲んでください。
- (3) 現住所欄については、本受験に関する連絡をこの現住所宛に行いますので、郵便物が確実に届くように正確に記入してください。
- (4) 学歴欄の学校名については、正式な学校名となるように、都道府県・市区町村私をそれぞれ○で囲んでください。
- (5) 履歴については、高等学校既卒者で、卒業後の職歴・中途退学歴がある場合のみ記入してください。
- (6) 卒業後の連絡先欄については、令和9年3月上旬に、合格者に入学手続関係の書類をこの宛先に送付しますので、郵便物が確実に届く宛先を記入してください。

3 志望調書

- (1) 受験者本人が手書きで記入してください。
- (2) 志望コースについては、エネルギー・応用化学・環境生命・情報システムのいずれかを記入してください。
- (3) 自己評価欄は、本校のアドミッションポリシーの各項目に対する合致状況を自己評価し、当てはまる数字に○をしてください。また、最も当てはまると思う項目について、その理由（根拠）を記入してください。

4 写真票・受験票・入学検定料振込証明書

- (1) ふりがな・氏名・生年月日・志望コース・出身学校の必要事項を漏れなく記入してください。
- (2) 写真は、出願前 3 ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽のもので、大きさは縦 40mm×横 30mm 程度、裏面に氏名を記入してください。
- (3) 写真及び入学検定料振込証明書は、はがれないように貼り付けてください。

◎ 誤って写真票・受験票・入学検定料振込証明書を切り離してしまった場合は、カバーアップテープ等（粘着力の弱いもの）で仮留めして提出してください。

入学検定料の納付について

(1) 銀行から振り込む場合（ゆうちょ銀行以外）

本要項に綴り込みの「入学検定料振込書」により志願者本人の氏名で振り込みの後、「検定料振込証明書（学校提出用）」を「入学検定料振込証明書」貼付欄に貼り付けてください。

(2) ゆうちょ銀行から振り込む場合

10 ページに記載の「入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合の注意点」を参照のうえ振り込みの後、「振込依頼書（兼振替払出請求書）」を「入学検定料振込証明書」貼付欄に貼り付けてください。

◎ ATM（現金自動預払機）及びインターネットバンキングを利用しないでください。

VI 入学者選抜における障害等を理由とした合理的配慮の提供について

有明工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上又は修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する場合は、下記の期日を目安に早めにご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、下記の期日を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

なお、入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 高等学校、特別支援学校高等部等の支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課教務係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」をされることをお勧めします。入試後又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談期限

7月2日(木)16:00 まで

Ⅶ 個人情報の保護について

入学志願者から提出された関係書類に記載されている情報及び選抜に用いた成績・評価など取得した個人情報は、入学者選抜の資料としての利用及び次の目的以外には使用しません。

- (1) 入学後の教育・指導及び緊急連絡先
- (2) 入学料・授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 授業料等諸納金の本校会計事務システムへの登録
- (5) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

Ⅷ 入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合の注意点

入学検定料はゆうちょ銀行からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、**現金による振込はできません**。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- (2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（兼振替払出請求書）（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- (3) 振込後は「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（兼振替払出請求書）（以下参照）」を受領してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（兼振替払出請求書 サンプル）

| 振込依頼書(兼振替払出請求書) [電信扱い] | | 「ゆうちょ銀行」以外の銀行宛 | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <small>※太枠からはみ出さないようにボールペンではっきりとご記入ください。 ※□枠は、該当の項目にレ印をつけてください。 <small>▲ 振込口座の場合は通帳に記号のある方のみご記入ください。</small> </small> | | | |
| ご依頼日 | | <small>※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。 <small>※お受取人負担のお取扱いはできません。</small> </small> | |
| 金融機関名 | <input type="checkbox"/> 銀行 <input type="checkbox"/> 協賛 <input type="checkbox"/> 信託 <input type="checkbox"/> 農協 <input type="checkbox"/> その他 | 支店名 | 支店 |
| お受取人 | 預金種目 <input type="checkbox"/> 1 普通 (満額) <input type="checkbox"/> 2 当座 <input type="checkbox"/> 3 定期 <input type="checkbox"/> 4 貯蓄 <input type="checkbox"/> 9 その他 () | 口座番号 | 金額 |
| おなまえ | フリガナ | ※金額の頭に「円」をご記入ください。 | |
| おとこ | 郵便番号 (-) | フリガナ | |
| ご依頼人 | おなまえ | おなまえ | |
| 日中ご迷惑先電話番号 | 通知番号 | <small>※お受取人様へ通知を希望される番号(最大10桁)がある場合 (お名前欄の数字を入れる欄色)に左詰めでご記入ください。</small> | |
| 払出口座番号 | 記号 | 番号 (左詰めでご記入ください) | お届け印 |
| 払出口座名義人 (代理人) | おとこ | おなまえ | おなまえ |

IX 学校案内

本校は昭和 38 年に創設され、中学卒業者を対象とした 5 年制の国立高等教育機関です。各学年の定員は 200 名で、学生総定員は、1,000 名です。卒業生は 9,472 名にのぼり、各分野において広く社会の期待に応じて活躍しています。高専を卒業すると、「準学士」という称号が授与されます。

また、高専 5 年間の教育課程の上に、より高度な専門知識と技術を教授し、創造的な研究開発や先端技術に対応できる人材を育成するため、2 年制の専攻科課程を設置しています。専攻科課程を修了すれば、大学改革支援・学位授与機構から、「学士」の学位を取得できます。

1 校訓：「進取創造」「和神養素」「友愛協調」

「**進取創造**」：新たな価値を創造する能力を身につけ、社会や技術の変化に対応できる自己啓発・向上能力に富み、国際社会で活躍できる実践的技術者の育成を目指すこと

「**和神養素**」：平素から落ち着いて勉学に励み、幅広い工学基礎と豊かな教養を身につけ、一人ひとりが、多様な個性・能力を伸ばし、自主的に学んでいくことができる実践的技術者の育成を目指すこと

「**友愛協調**」：個人としての責任を果たし、個人や社会の多様性を尊重し、お互いに支え合い、社会に参画することができる人材及び学際的技術分野で活躍するのに十分に優れた協同活動能力をもつ実践的技術者の育成を目指すこと

2 教育理念と学習・教育到達目標

有明高専では教育理念として「幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性、多様性、学際性、国際性に富む実践的な高度技術者の育成を目指す」と定めています。この教育理念にしたがって、人に優しい、自然と共存できる技術の開発に携わり、環境問題・食糧問題・エネルギー問題・自然災害問題・高齢化社会問題・都市問題など今日的な諸課題について柔軟に対応できる技術者を育成することを目指しています。そのために、以下の学習・教育到達目標を掲げています。

学習・教育到達目標

(A) 豊かな教養と国際性

- (A-1) 考察力：地球的視野から物事を多面的に理解できること
- (A-2) 倫理観：社会や自然の中での技術の役割を理解し、技術者としての責任を自覚できること
- (A-3) コミュニケーション能力：適切かつ円滑に読解・表現ができること

(B) 専門知識と学際性

- (B-1) 基礎知識：専門分野の基礎となる内容を理解していること
- (B-2) 専門知識：専門分野の内容を理解していること
- (B-3) 実践力：実験・実習等の内容を理解・実行・考察できること
- (B-4) 学際的知識：様々な分野の知識と技術を理解し、複合的に活用するための視野をもっていること

(C) 創造性とデザイン能力

- (C-1) 課題探究力：自ら課題を発見し、その本質を理解できること
- (C-2) 課題解決力：身につけた教養と実践力を活用し、課題を解決できること

3 教育課程

入学後修得できる専門科目及び単位数は、令和8年4月1日現在では次のとおりです。

※ 学外実習、特別講義は、普通の授業形態とは異なりますが、一定の条件を満たせば単位修得が認められる科目です。

| | エネルギー コース | 単 位 数 | 応用化学 コース | 単 位 数 | 環境生命 コース | 単 位 数 | メカニクス コース | 単 位 数 | 情報システム コース | 単 位 数 | 建築 コース | 単 位 数 |
|-----------------------|-------------------|-------------|-------------------|-------------|-------------------|-------------|-------------------|-------------|-------------------|-------------|-------------------|-------------|
| 必修 科目 | 応用数学Ⅰ | 2 | 応用数学Ⅰ | 2 | 応用数学Ⅰ | 2 | 応用数学Ⅰ | 2 | 応用数学Ⅰ | 2 | 応用数学Ⅰ | 2 |
| | 応用数学Ⅱ | 1 | 応用数学Ⅱ | 1 | 応用数学Ⅱ | 1 | 応用数学Ⅱ | 1 | 応用数学Ⅱ | 1 | 応用数学Ⅱ | 1 |
| | 創造設計基礎演習 | 1 | 創造設計基礎演習 | 1 | 創造設計基礎演習 | 1 | 創造設計基礎演習 | 1 | 創造設計基礎演習 | 1 | 創造設計基礎演習 | 1 |
| | 技術者倫理 | 1 | 技術者倫理 | 1 | 技術者倫理 | 1 | 技術者倫理 | 1 | 技術者倫理 | 1 | 技術者倫理 | 1 |
| | 環境工学 | 1 | 環境工学 | 1 | 環境工学 | 1 | 福祉人間工学 | 1 | 福祉人間工学 | 1 | 福祉人間工学 | 1 |
| | エネルギー工学 | 1 | エネルギー工学 | 1 | エネルギー工学 | 1 | 情報福祉工学 | 1 | 情報福祉工学 | 1 | 情報福祉工学 | 1 |
| | 電気回路Ⅱ | 2 | 有機化学Ⅱ | 2 | 有機化学Ⅱ | 2 | 熱力学 | 2 | アルゴリズムⅠ | 1 | 建築計画Ⅱ | 2 |
| | 電気磁気学Ⅱ | 2 | 物理化学Ⅱ | 2 | 無機化学Ⅱ | 1 | 水力学 | 2 | アルゴリズムⅡ | 1 | 福祉環境計画 | 2 |
| | 電気電子材料 | 1 | 化学工学 | 1 | 物理化学Ⅱ | 1 | 計測制御Ⅰ | 1 | 離散数学Ⅰ | 1 | 西洋建築史 | 1 |
| | 制御工学Ⅰ | 1 | 無機化学Ⅱ | 1 | 物理化学Ⅲ | 1 | 計測制御Ⅱ | 1 | 離散数学Ⅱ | 1 | 都市計画 | 1 |
| | 制御工学Ⅱ | 1 | 生物化学Ⅱ | 1 | 化学工学 | 2 | 計測制御Ⅲ | 2 | 数値計算法Ⅰ | 1 | 近代建築史 | 1 |
| | 電気電子設計 | 2 | 有機化学Ⅲ | 1 | 生物化学Ⅱ | 1 | メカトロニクス基礎Ⅰ | 1 | システムプログラム | 2 | 建築環境工学Ⅱ | 2 |
| | エネルギー工学演習 | 1 | 物理化学Ⅲ | 1 | 生物反応工学 | 1 | メカトロニクス基礎Ⅱ | 1 | 情報システム演習Ⅲ | 1 | 建築設備Ⅰ | 2 |
| | エネルギー工学実験Ⅱ | 2 | 物理化学Ⅳ | 1 | 生物工学基礎 | 1 | 材料学Ⅱ | 2 | 情報システム演習Ⅳ | 1 | 建築設備Ⅱ | 1 |
| | エネルギー工学実験Ⅲ | 2 | 材料化学 | 1 | 材料化学 | 1 | 材料学Ⅲ | 1 | 電気回路Ⅱ | 1 | 構造力学Ⅱ | 2 |
| | エネルギー変換工学 | 2 | 機器分析学Ⅰ | 2 | 微生物工学 | 1 | 材料力学Ⅱ | 2 | 電子回路Ⅰ | 2 | 構造力学Ⅲ | 2 |
| | 電力発生工学 | 1 | 生物工学基礎 | 1 | 生物有機化学 | 1 | 材料力学Ⅲ | 2 | 電子回路Ⅱ | 1 | 鉄筋コンクリート構造Ⅰ | 1 |
| | 電力輸送工学 | 1 | 反応工学 | 1 | 生物物理化学 | 1 | 機械要素設計 | 2 | 半導体工学 | 2 | 鉄筋コンクリート構造Ⅱ | 1 |
| | パワーエレクトロニクス | 1 | 微生物工学 | 1 | プロセスシステム工学 | 1 | 機械力学 | 2 | 電子工学実験Ⅱ | 1 | 鋼構造Ⅰ | 1 |
| | 電子デバイス工学 | 1 | プロセスシステム工学 | 1 | 生物学 | 2 | 流体力学 | 1 | 電子工学実験Ⅲ | 1 | 鋼構造Ⅱ | 1 |
| | 電子回路Ⅰ | 1 | 生物学 | 2 | 機器分析学Ⅰ | 2 | 基礎塑性力学 | 2 | 電磁気学 | 2 | 構造計画 | 1 |
| | 電子回路Ⅱ | 1 | 高分子化学Ⅰ | 2 | 高分子化学Ⅰ | 2 | 溶融加工 | 2 | コンピュータアーキテクチャⅠ | 1 | 建築振動学 | 1 |
| | 計算機工学 | 1 | 応用化学実験Ⅲ | 1 | 環境生命実験Ⅲ | 1 | コンピュータ工学 | 1 | コンピュータアーキテクチャⅡ | 1 | 基礎構造 | 1 |
| | 基礎通信工学 | 1 | 応用化学実験Ⅳ | 1 | 環境生命実験Ⅳ | 1 | 数値計算法 | 1 | 情報ネットワーク | 2 | 建築材料Ⅱ | 1 |
| | 卒業研究Ⅰ | 2 | 応用化学総合実験 | 1 | 生物工学実験 | 1 | 創造設計演習Ⅰ | 2 | 組み込みシステム実験Ⅰ | 1 | 建築材料実験 | 1 |
| | 卒業研究Ⅱ | 8 | 卒業研究Ⅰ | 2 | 卒業研究Ⅰ | 2 | 創造設計演習Ⅱ | 3 | 組み込みシステム実験Ⅱ | 1 | 建築生産 | 2 |
| | | | 卒業研究Ⅱ | 9 | 卒業研究Ⅱ | 9 | 専門工学実験Ⅰ | 1 | 卒業研究Ⅰ | 2 | 建築法規 | 2 |
| | | | | | | | 専門工学実験Ⅱ | 1 | 卒業研究Ⅱ | 8 | 建築設計演習Ⅲ | 3 |
| | | | | | | 専門工学実験Ⅲ | 2 | | | 建築設計演習Ⅳ | 3 | |
| | | | | | | 卒業研究Ⅰ | 3 | | | 建築実験実習 | 1 | |
| | | | | | | 卒業研究Ⅱ | 9 | | | 卒業研究Ⅰ | 1 | |
| | | | | | | | | | | 卒業研究Ⅱ | 8 | |
| | | | | | | | | | | 3科目から1科目選択 | | |
| | | | | | | | | | | 卒業設計 | 4 | |
| | | | | | | | | | | 設備設計演習 | 4 | |
| | | | | | | | | | | 構造設計演習 | 4 | |
| 選 択 科 目 | 高電圧工学 | 1 | 電気工学基礎Ⅰ | 1 | 電気工学基礎Ⅰ | 1 | 工業英語 | 1 | コンパイラ | 2 | 都市デザイン | 1 |
| | エネルギー資源 | 2 | 電気工学基礎Ⅱ | 1 | 電気工学基礎Ⅱ | 1 | 伝熱工学 | 1 | ソフトウェア工学 | 2 | ユニバーサルデザイン | 1 |
| | エネルギーシステム | 2 | 機械工学基礎Ⅰ | 1 | 機械工学基礎Ⅰ | 1 | 流体力学 | 2 | 信号処理 | 2 | 建築設計演習Ⅴ | 2 |
| | エネルギー応用 | 1 | 機械工学基礎Ⅱ | 1 | 機械工学基礎Ⅱ | 1 | 電気電子工学Ⅰ | 1 | データベース | 2 | | |
| | 電気法規 | 1 | 品質管理 | 1 | 品質管理 | 1 | 電気電子工学Ⅱ | 1 | 人工知能 | 2 | | |
| | デジタル回路 | 1 | 化学英語 | 1 | 酵素化学 | 1 | | | 情報理論Ⅰ | 1 | | |
| | 信頼性工学 | 1 | 機器分析学Ⅱ | 1 | 生態学 | 1 | | | 情報理論Ⅱ | 1 | | |
| | 物理化学概論 | 1 | 環境化学 | 1 | 食品工学 | 1 | | | 数値計算法Ⅱ | 1 | | |
| | 熱力学 | 1 | 高分子化学Ⅱ | 1 | 生物学演習Ⅰ | 1 | | | 制御工学Ⅰ | 1 | | |
| | 内燃機関 | 1 | 機能材料工学 | 1 | 生物学演習Ⅱ | 1 | | | 制御工学Ⅱ | 1 | | |
| | 伝熱工学 | 1 | 工業材料 | 1 | 細胞生物学 | 1 | | | 通信工学 | 2 | | |
| | | | 応用化学演習Ⅰ | 1 | 機器分析学Ⅱ | 1 | | | | | | |
| | | | 応用化学演習Ⅱ | 1 | 環境化学 | 1 | | | | | | |
| | | | 応用化学演習Ⅲ | 1 | 遺伝子工学 | 1 | | | | | | |
| | | 2科目から1科目選択 | | | | | | 4科目から2科目選択 | | | | |
| | | 流体工学 | 1 | | | | メカトロニクス応用 | 2 | | | | |
| | | 数値計算法 | 1 | | | | システム制御工学 | 2 | | | | |
| | | 2科目から1科目選択 | | | | | 内燃機関 | 2 | | | | |
| | | 水力学 | 1 | | | | 生産システム工学 | 2 | | | | |
| | | 信号処理 | 1 | | | | | | | | | |
| 授 業 外 科 目 | 学外実習 | 1 | 学外実習 | 1 | 学外実習 | 1 | 学外実習 | 1 | 学外実習 | 1 | 学外実習 | 1 |
| | 〃 | 2 | 〃 | 2 | 〃 | 2 | 〃 | 2 | 〃 | 2 | 〃 | 2 |
| | 特別講義 | 1 | 特別講義 | 1 | 特別講義 | 1 | 特別講義 | 1 | 特別講義 | 1 | 特別講義 | 1 |
| | 他高専・大学の開講科目(専門科目) | *a | 他高専・大学の開講科目(専門科目) | *a | 他高専・大学の開講科目(専門科目) | *a | 他高専・大学の開講科目(専門科目) | *a | 他高専・大学の開講科目(専門科目) | *a | 他高専・大学の開講科目(専門科目) | *a |
| | 特別学習(専門科目) | *b | 特別学習(専門科目) | *b | 特別学習(専門科目) | *b | 特別学習(専門科目) | *b | 特別学習(専門科目) | *b | 特別学習(専門科目) | *b |

*a 他高専・他大学で修得した科目の単位数

*b 単位数は別に定める

4 経費・免除制度・奨学金・学生寮

入学に要する諸経費

- 入学料 84,600 円 (予定額)
- 教科書等購入費 約 50,000 円
- その他の経費 29,000 円 (学生会、同窓会及び後援会の会費等)

授業料は次のとおり予定されています。

年額 234,600 円 (前期分 117,300 円、後期分 117,300 円)

入学料免除・徴収猶予制度

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者(学資負担者)が死亡した場合、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など、特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者には、申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除すること、あるいは、その徴収を猶予することがあります。

授業料免除・徴収猶予制度

入学前1年以内において学資負担者が死亡した者、風水害等による災害を受け納付困難と認められる者には、申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除すること、あるいは、その徴収を猶予することがあります。

高等教育の修学支援新制度

住民税非課税世帯及びそれに準じる世帯または多子世帯(生計維持者の扶養する子どもの人数が3人以上)の日本人学生を対象に、日本学生支援機構の給付奨学金に加え、入学料・授業料の減免による支援が実施されます。

※多子世帯であっても家計状況によっては、奨学金の給付はなく、授業料減免のみの場合があります。

奨学金制度

人物・学業成績ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難な学生に対し、申請に基づき選考のうえ、学資を貸与する又は給付する制度があります。下の表は日本学生支援機構の奨学金を例に挙げています。

(R8年度参考) 4・5年生(月額)

| 区分 | 自宅 | 自宅外 |
|--------|--------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 第一種奨学金 | 20,000 円、30,000 円又は 45,000 円 | 20,000 円、30,000 円、40,000 円 又は 51,000 円 |
| 第二種奨学金 | 20,000 円から 120,000 円までの 10,000 円単位の金額を選択可能 | |

※各種制度の内容は本要項作成時点のもので、今後変更される可能性があります。

学生寮

男子寮及び女子寮があります。寮費は食費を含み月額約 53,000 円、寄宿料は月額 800 円です。

入寮希望者が収容可能人員を超える場合は選考を行います。

また、疾病その他の理由により寮での共同生活が困難であると認められる場合は入寮できないことがあります。

5 卒業後の進路

就 職

本校は、昭和43年3月から卒業生を送り出し、多くの卒業生が産業界で活躍しています。例年数多くの会社から求人があり、就職希望者の就職率は毎年ほぼ100%です。

過去3年間の卒業生の主な就職先

| エネルギーコース | 応用化学コース 環境生命コース | メカニクスコース | 情報システムコース | 建築コース |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NECプラントエンジニアリング(株) NHKテクノロジーズ(株) NTTアノードエナジー(株) 株エムジー 株ハル(株) 九州電力(株) 京セラ(株)鹿児島川内工場 株クボタ 株カミノ(株) 株JFEプラントエンジニアリング 株J-POWER 株セイコーエプソン 株ソニーセミコンダクタマ 株ニューファクチャリング 株ダイキン工業 株中部電力 株東海旅客鉄道 株東京エレクトロン 株東京ガス 株TOTO 株TOPPAN 株西日本旅客鉄道 株パナソニック 株日立ハイテク九州 株富士電機 株三菱重工 株三菱電機ビルソリューションズ 株メタウォーター 株安川オートメーションドライブ 株レンゴー 株ローム・アポロ | artience(株) 旭化成(株) 株旭製作所 株味の 株ヴェリア・ジャパングループ 株花王 株カネカ 株関西電力 株関東化学 株京セラ 株キリンビール 株久原本家食品 株KMバイオロジクス 株沢井製薬 株サントリー 株資生堂 株昭栄化学工業 株中外製薬工業 株DIC 株ディスコ 株東京エレクトロン 株日東電工 株日本触媒 株(一社)日本血液製剤機構 株三井化学 株三菱ケミカル 株ヤクルト本社 株雪印メグミルク 株ルネサエレクトロニクス 株レゾナック | 旭化成(株) 株いすゞエンジニアリング 株オムロンフィールドエンジニアリング 株川崎重工 株キヤノン 株京セラ(株)鹿児島川内工場 株キリンビール 株サントリー 株スズキ 株SUBARUテクノ 株ダイキン工業 株デンソーテクノ 株TOPPAN 株トヨタロジックソリューションズ 株トヨタ紡織 株ニコン 株西日本旅客鉄道 株日産自動車九州 株パナソニックエナジー 株半導体エネルギー研究所 株久光製薬 株日立造船 株日立ハイテク九州 株ファナック 株富士フイルムビジネスイノ 株ベーションジャパン 株本田技研工業 株三菱重工 株三菱電機エンジニアリング 株安川電機 | 株アイ・システム 株(株)有明ねっとこむ 株ANAコンボ・ネットテクノ 株(株)NTTデータ 株(株)NTTドコモビジネスエ 株ン지니어リング 株NTT西日本 株木村情報技術 株Qsol 株(株)QNet 株京セラ 株(株)クレスコ 株KDDIエンジニアリング 株(株)佐賀銀行 株(株)シティアスコム 株Japan Advanced 株Semiconductor 株Manufacturing 株(株)SUBARU 株ソニーセミコンダクタマ 株ニューファクチャリング 株(株)ソフト九州 株ソフトバンク 株大日本印刷 株凸版印刷 株西鉄情報システムズ 株西日本高速道路ファシリ 株ティーズ 株日清紡マイクロデバイス 株パナソニックコネク 株(株)FIXER 株(株)福岡銀行 株三菱電機エンジニアリング 株安川オートメーションドライブ 株(株)ラック | 株上村建設 株(株)大林組 株北九州市役所 株九州旅客鉄道 株五洋建設 株佐藤工業 株清水建設 株(株)JR西日本ビルト 株住友不動産 株住友林業ホームテック 株(株)エス・建築事務所 株三建設備工業 株大牟田市役所 株鹿島建設 株前田建設工業 株(株)竹中工務店 株東京ガスネットワーク 株東レ建設 株戸田建設 株トランスコスモス 株(株)横河ブリッジホールディングス 株東亜建設工業 株日軽パネルスシステム 株福岡市役所 株三菱地所プロパティマネジメント 株(株)梓設計 株三井住友建設 株JFEシビル 株(株)LIXIL 株若築建設 |

進 学

卒業後、更に研鑽を積むことを望む学生のために高専専攻科への進学や4年制大学3年次編入学の道が開かれています。

卒業生の主な進学先

| 大学等名 | 進学年度 | | | | |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 有明工業高等専門学校専攻科 | 31 | 29 | 25 | 23 | 17 |
| 豊橋技術科学大学 | 6 | 8 | 8 | 3 | 7 |
| 長岡技術科学大学 | | 1 | 2 | 4 | 1 |
| 九州大学 | 2 | | 1 | 4 | 5 |
| 九州工業大学 | 7 | 3 | 5 | 3 | 2 |
| 佐賀大学 | 1 | 2 | | 2 | 4 |
| 熊本大学 | 3 | 9 | 5 | 6 | 9 |
| 大分大学 | | 2 | | | |
| 宮崎大学 | 1 | | | 1 | |

| | | | | | |
|-----------------|---|---|---|---|---|
| 鹿 児 島 大 学 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 筑 波 大 学 | | | | | 1 |
| 埼 玉 大 学 | | | | | 1 |
| 千 葉 大 学 | 1 | | | | |
| 東 京 科 学 大 学 | 1 | | | | |
| 東 京 農 工 大 学 | 1 | 2 | | 1 | |
| 東 京 海 洋 大 学 | 1 | | | | |
| 大 阪 大 学 | | 1 | | | |
| 神 戸 大 学 | | | 1 | | |
| 島 根 大 学 | | | | | 1 |
| 山 口 大 学 | | 1 | 1 | 1 | |
| 山陽小野田市立山口東京理科大学 | | | | 1 | |
| 九 州 産 業 大 学 | | | | 1 | |
| 福 岡 大 学 | | | 1 | | |
| 東 京 都 市 大 学 | | | | 1 | |
| 武 蔵 野 美 術 大 学 | | | | 2 | 1 |
| 東 京 工 芸 大 学 | | | | | 1 |
| 金 沢 工 業 大 学 | | 1 | | | |
| 京 都 美 術 工 芸 大 学 | | | | | 1 |
| 神 戸 芸 術 工 科 大 学 | | | | 1 | |
| 福 山 大 学 | | 1 | | | |
| その他（専門学校） | | 3 | | 1 | |

6 有明工業高等専門学校案内図



入試に関する問い合わせ、出願書類の請求先

独立行政法人 国立高等専門学校機構
有明工業高等専門学校

学生課 教務係

電話 0944-53-8622

FAX 0944-53-8862

E-mail gakkyo-staff@ml.ariake-nct.ac.jp

〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町 150